

令和8年度 第1学年 学級経営案

男 12人 女 8人 合計 20人 担任 三樹 仁香

学 校 教 育 目 標

ふるさとを愛し、一人一人が輝く
徳・知・体の調和のとれた児童の育成

- 【なかよく】 思いやりをもち、助け合う児童
- 【かしこく】 進んで学び、よく考える児童
- 【元気よく】 たくましく、ねばり強い児童
- 【ふるさと】 郷土に学び、郷土を愛する児童

湯前っ子5つのすがた「あいうえお」
あ 明るいあいさつ、大きな返事
い いい聞き方、目、耳、心で
う 美しい場所、もくもくそうじ
え 笑顔の言葉、思いやり
お 落ち着いた生活、守ろう時間

学 級 目 標

- わくわく！にこにこ！1年生
○ちからをあわせる1ねんせい（きまりを守って生活し、思いやりをもって協力できる児童）
○みんながにこにこ1ねんせい（相手のことをかんがえ、自分も友達も大切にできる児童）
○あきらめずちゃれんじ1ねんせい（話をよく聞き、考え、粘り強く考えることができる児童）

具 体 的 な 取 組

評 価

I II III

目指す児童像	確かな学力 かしこく	1 時間前着席、時間のメリハリ、姿勢、机上整理などの学習規律を繰り返し指導し、児童が落ち着いて学習に取り組むことができるようにする。			
		2 目と耳と心で、話を聞く姿勢を育て、児童の「聞く力」を高める。			
		3 ひらがな・カタカナ・漢字・計算の反復練習や家庭学習を継続して行い、児童の基礎学力を高める。			
		4 ペアや班での対話を授業中に取り入れ、児童一人ひとりが発言する場を設け、自分の考えを主体的に表現できるようにする。			
	豊かな心 なかよく	1 相手の気持ちを考えた言動について、児童と一緒に考えることで、相手のことを考えた言動ができるようにする。			
		2 帰りの会の「きらりさん」などを通して、児童同士で頑張りや良さを発表したり、称賛したりすることを通して、自己肯定感を高めていけるようにする。			
		3 日頃の様子や学校アンケート、教育相談等により、児童の思いに寄り添い、全員が安心して生活できる教室環境をつくる。			
	健康な体 元気よく	1 気持ちのいい挨拶、返事ができるように、日常指導を行う。			
		2 体育の時間の運動量の確保、昼休みに外遊びを促すことで、児童の体力の保持増進を図る。			
		3 給食において、児童が食べる量を把握し、個に応じた量をバランスよく食べることができるようにする。			
		4 掃除の意義を伝え、黙々掃除が時間いっぱいできるように、教師が手本を示したり、頑張りを称賛したりして、環境整備を自ら行うことができるようにする。			
	郷土愛	1 地域の施設の利用や、地域の方と一緒に活動することを通して、地域の良さを感じられるようにする。			
		2 地域の行事などへの参加を積極的に呼びかけ、地域との関わりが増えるように促す。			
特別支援教育 人権教育	1 支援が必要な児童の座席等の配慮や、指示を視覚化するなどして明確に提示する。また、短くわかりやすい指示にする。				
	2 具体物や ICT など効果を効果的に活用することで、児童の興味関心を高め、主体的な学習を促す。				
	3 支援員との情報共有を通して、児童の困り感を把握し、個別の支援を必要に応じて効果的に行う。				
その他	1 きまりの意味や、安全に生活するためにふさわしい行動について、日常的に指導を行い、児童の安全・防災意識を高める。				
学期評価（達成状況 達成← 4、3、2、1 →未達成）					